

は じ め に

別々の道を歩むために

生徒の皆さんは、義務教育終了までは同じ道を歩みます。しかし中学校卒業を境に、同じ道を歩まなくなります。就職したり、家業を継いだり、高校や専門学校に進んだりします。また、高校でも普通科や職業科、さらに制度の違う単位制の高校もあり、別々の道を歩むことになります。

別々の道を選択することは、自分の将来へ、自分で歩み出すことです。義務教育のように社会制度で決まっていたり、大人が決めてくれるのではなく、自分で自分の将来を決めることになります。そのためには、自分にはどのような力があり、何をしたいと思っているかを見つめることのできる力が必要です。

選択を幅広くするための条件

高校や専門学校に進学したり、就職するには試験という関門があります。その試験を突破するのに必要なものは学力です。学力をつけておくと、選択できる高校や会社の幅を広くします。逆に、学力をつけなければ選択の幅を狭くしてしまいます。特に、皆さんがチャレンジする公立高校の入試制度が昨年前から変更になり、確かな学力をつけておく必要があります。

また今の日本の社会は、世界の動きに特に影響を受けます。経済を中心とした外国の影響を、強く受けながら変化していくのが日本です。皆さんが大人になるころ、日本がどのような国になっているのかわかりませんが、変化をし続けていることは明確です。

変化していく社会に求められるのは、思考力や判断力、コミュニケーション能力などの人間としての総合力です。授業で教わることを深く理解すること。そして、さまざまなことにチャレンジして、総合力をつけてほしいと願っています。

保護者の皆様へ

14・15歳の中学生が、自分の将来を考えることは、大変難しいことです。進路について「子どもの好きに任せる」という方針は、子どもを尊重しているかのように見えますが、子どものためになるとはいえません。ご家庭の方針やお子様への期待、親としての願いなどを適宜話していただきたいと思っています。ぼんやりとしていた夢が具体的になれば、意欲にもつながります。

この“保護者会資料”は、保護者会だけではなく、三者面談、家庭での話し合いのときなど、疑問に思ったとき、迷うとき、不安なとき、確かめるときなど、折にふれて活用してください。

目 次

はじめに

1	進路決定までの流れ	P.1~P.2
	・将来のことを考える	
	・学校の種別を検討する	
	・志望校の候補を決め、その高校について調べる	
	・志望校を検討し、決定する	
	・三者面談を通して受検校（受験校）を決定する	
2	卒業後の進路について	P.3~P.8
	・高等学校の種類と特徴	
	・高等専門学校について	
	・専修学校について	
	・サポート校について	
	・その他の学校について	
	・就職について	
3	進学先選択のポイント	P.9~P.11
	・高校選択の基本的な考え方	
	・ポイント①自分の意志で選ぶこと	
	・ポイント②学力とともに自分に合った学校を選ぶこと	
	・ポイント③高校の教育内容を知る	
	・ポイント④通学について	
	・ポイント⑤高校への受験料、学費について	
	・ポイント⑥第2志望・第3志望の高校を考える	
4	公立高校について	P.11~P.22
	・入学者選抜について	
	・令和9年度 千葉県公立高等学校 選抜日程	
	・「一般入学者選抜」の検査内容と選抜方法	
	・旧選抜制度と新選抜制度の相違点	
	・通学区域	
	・普通科内に設置されているコース	
	・学区別/専門学科設置高等学校	
	・高等学校改革推進プラン	
5	私立高校について	P.23
	・入試日程	
	・推薦制度について	
6	進路年間計画（進路だより No.4）	P.24~P.25
7	昨年度卒業生の進路	P.26
8	高校訪問・説明会・体験入学について	P.27
9	奨学金制度について	P.28~P.30
10	これから心がけること	P.31~P.32

Ⅰ 進路決定までの流れ

(1) 将来のことを考える

高校受験のことだけを考えるのではなく、3年後、5年後を視野に入れながら中学校卒業後の進路を考える必要があります。各高校のホームページや、高校案内の書籍などで情報収集をし、機会があるごとに進路のことを保護者の方と話し合しましょう。

(2) 学校の種別を検討する

具体的な志望校を考える前に、高校なのか高専なのか、普通科なのか専門学科なのか、公立なのか私立なのか、共学校なのか男子校・女子校なのか、進学校なのか就職が多い高校なのか、大学付属なのか、専修学校に進むのか、働きながら学ぶのか…など、どんな条件ならいいのかも話し合しましょう。

(3) 志望校の候補を決め、その高校のことを調べる

高校受験案内やパンフレット、各学校のホームページなどから、自分の考える内容に近い学校を何校か選び、調査をしていきましょう。

その際に多く利用してほしいのが、「学校説明会」や「一日体験入学」です。ほとんどの高校が実施しています。7～10月の土・日曜日に多く実施され、「一日体験入学」では授業や実習を体験し、その学校の様子や学科の内容を知ることができます。資料だけでなく、体験を通して見聞できるので、大変参考になります。また、複数の学校を訪問・見学することで比較できますので、できるだけ多く見学することを勧めます。

【調べるポイント】

- ☐校風、教育目標、教育方針 — 宗教教育、スポーツが盛んである、進学に力を入れている等。
- ☐教育内容 — 英語や数学は週何時間あるのか、クラスの編成はコース別・学力別、少人数指導を実施、外国人講師が多い、留学制度がある等。
- ☐課外活動 — どのような部活動があるのか等。
- ☐進路状況 — 卒業生の進路の状況はどうか、進学・就職・浪人生の割合等。
- ☐通学方法・通学時間 — 家を出てから高校に着くまでは、どのくらいかかるか等。
- ☐学費 — 授業料・入学金以外にも修学旅行の積立などがどのくらいなのか等。
- ☐合格するための学力 — 学校の成績や実力テストなどから自分の学力で合格できるのか等。

(4) 志望校を検討し、決定する

自分で調べた内容から志望校を選んでいきます。入学したいと思う学校順に第1志望、第2志望、第3志望…と決めていきます。入学したい高校をただ順番に並べただけでは受験の作戦になりません。そこで、次のような点を考慮し志望校を選びましょう。

① できるだけ第2志望校を選ぶ

第1志望の高校に合格できないこともあります。そのため、第2志望の高校に合格しておく、心に余裕を持って第1志望の受験に臨むことができます。第2志望の高校であっても、3年間通うことになっても納得できる学校、そこで3年間頑張れる学校を選ばなければなりません。

② 受験校が多いと精神的、肉体的に厳しいです

見知らぬ場所へ行って試験を受けてくるというのはかなりのエネルギーを消費します。連続や一日おきに受験することで疲れがたまり、実力が出せなくなる場合もあることを考えましょう。受験校を何校にするかは、保護者の方とよく話し合ひましょう。

③ 受験の日程を考えに入れながら…

高校の受験は1月中旬から2月下旬にかけて、茨城私立→千葉私立・埼玉私立→東京私立→公立一般選抜→公立二次募集の順になると思われます。同じ県の私立高校では受験日が同じ日になる場合がありますから、特に注意しましょう。

(5) 三者面談で受検校（受験校）を決定する

第1回三者面談(7月)…自分自身をよく見つめ直し、よりよい進路選択ができるようにするための話し合いの場にします。生活のリズムや学習の仕方について相談したいと思っています。

第2回三者面談(11月)…私立受験校の決定、就職先の決定を中心とした面談です。公立受検校もほぼ決定してもらいたいと思います。

※上記以外で進路先を決めるための進路相談(二者あるいは三者)、受験校変更のための進路相談は必要に応じて随時行います。

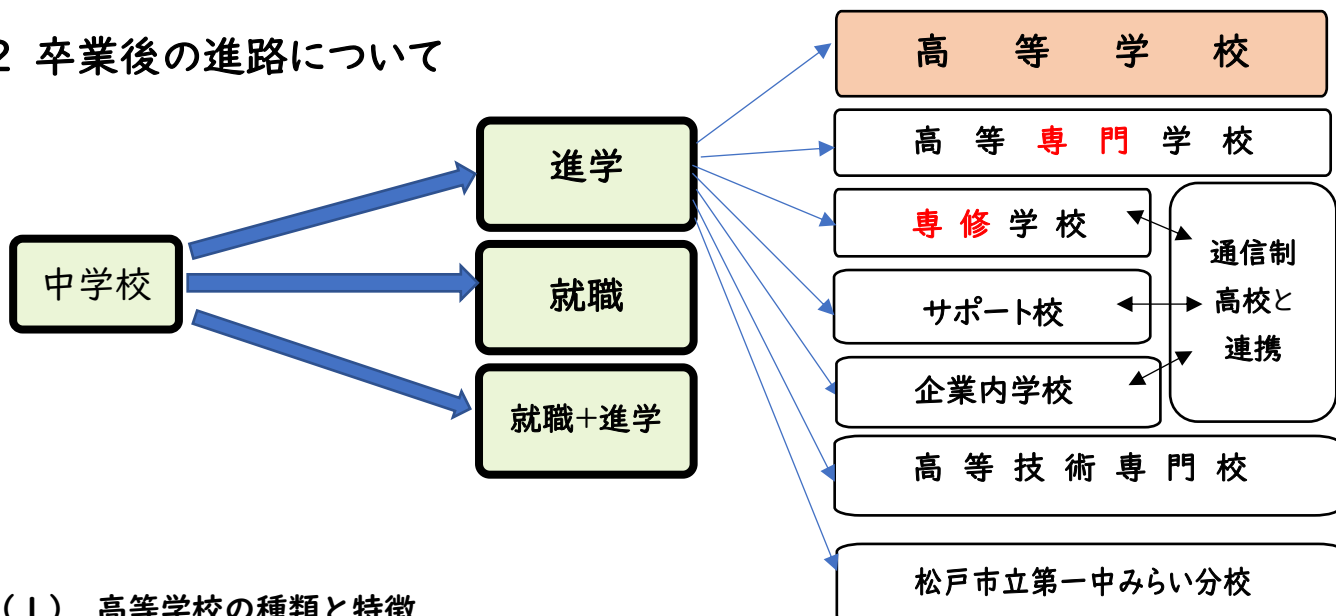
※三者面談までに次のことができるようにしておいてください。

① 本人と保護者、また家庭内で意見が違っている場合には、どういう点で違っているのかをはっきりさせておきましょう。

② 具体的な志望校をあげられるようにしておきましょう。1校だけではなく、第2・3志望も、その高校を志望する理由をはっきり言えるようにしておきましょう。(第2回のみ)

大切なことは、自分の考えを持って、自分の受験スケジュールを立てて面談に臨めるかということです。進路について親子で事前に何度も話し合い、高校生活への抱負、将来への希望などについてじっくりと考えましょう。

2 卒業後の進路について



(1) 高等学校の種類と特徴

① 高等学校の種類

- ア. 国立高等学校 東京学芸大学教育学部附属高等学校 等
- イ. 公立高等学校
 - α. 県立高等学校 (全日制) 松戸国際高等学校、市川工業高等学校 等
(定時制) 東葛飾高等学校、市川工業高等学校 等
(通信制) 千葉大宮高等学校
(三部制の定時制) 松戸南高等学校、生浜高等学校
 - β. 市立高等学校 市立松戸高等学校、市立習志野高等学校 等
 - γ. 他県公立高校 埼玉県立高校は隣接協定有り
- ウ. 私立高等学校 (全日制) 専修大学松戸高等学校、二松学舎大学柏高等学校 等
(定時制) 中央大学付属高等学校、駿台学園高等学校 等
(通信制) 科学技術学園、NHK学園 等

② 国立高等学校について

国立高等学校は主に国立大学の附属高校です。私立大学の付属高校と違い、そのままその大学に進学できる制度はありません。なお、松戸市から受験可能な国立高等学校は、

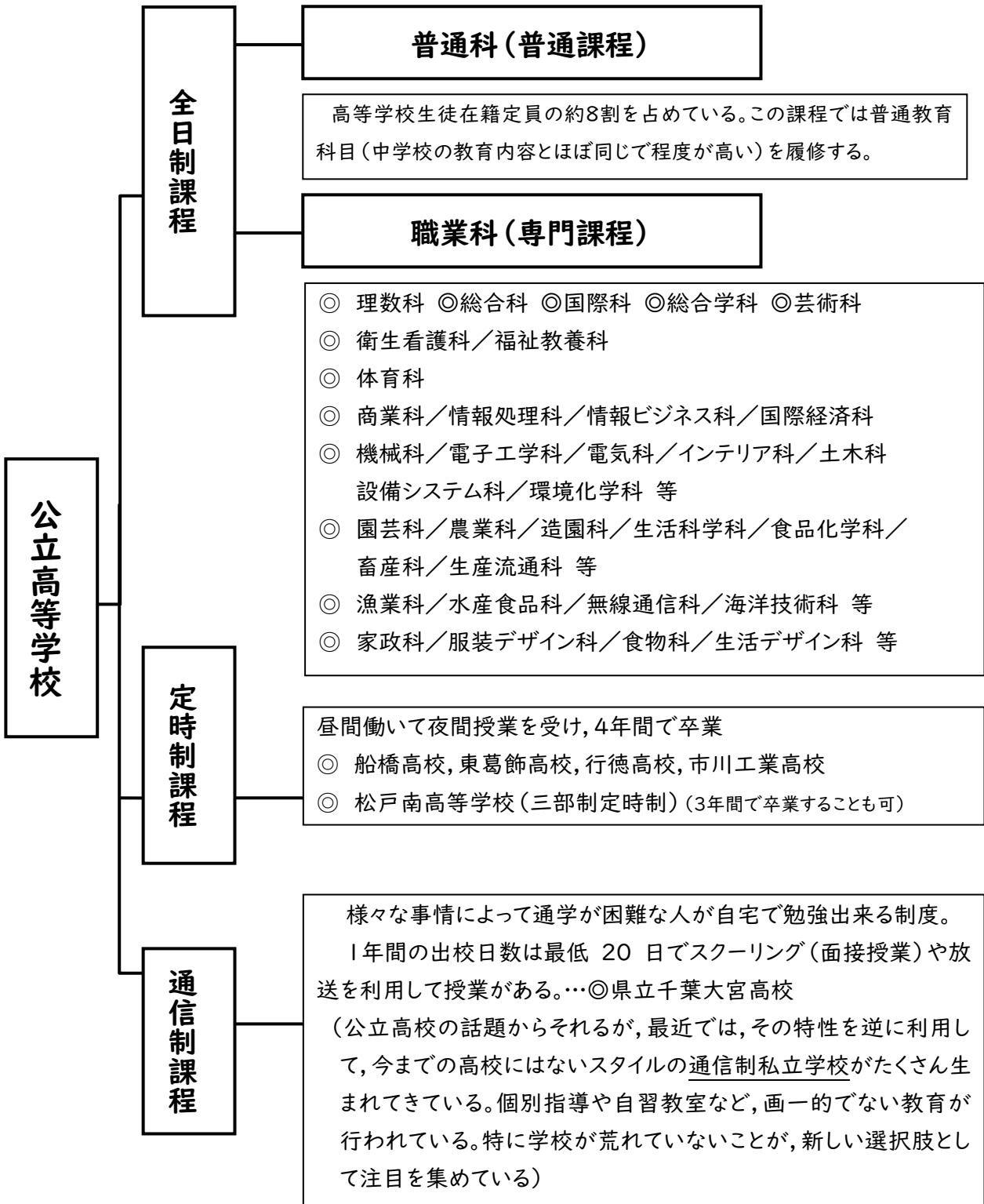
- ・東京学芸大学附属高等学校
- ・東京工業大学附属科学技術高等学校
- ・お茶の水女子大学附属高校
- ・筑波大学附属高等学校
- ・東京芸術大学音楽学部附属高等学校 等があり、2月中旬に入試が行われます。

③ 公立高等学校について

公立高等学校には、県が設置する県立高等学校と、各市が設置する市立高等学校があります。公立高校は、原則として文科省の指導要領に従い、どの学校も同様なカリキュラムを実施していますが、実際の教育内容は入学してきた生徒の学力レベルにより大きく異なります。

県立高校は、一部を除いて男女共学です。普通科には学区制があります。専門課程には学区制はなく、全県学区となります。

公立高等学校（県立・市立高等学校）



④ 私立高等学校について

私立高等学校には、公立高等学校とは違い、以下のような様々な特徴があります。

(ア) 特色のある教育が受けられる

私立では、それぞれ設立者の建学精神があります。人格と信念の教育、実学を目的とする教育、宗教に根底を置く教育、女子教育の完成を理想とするなど多種多様です。

また、公立高校とは違い、宗教教育も実施している高校もあります。

(イ) 男女別学

男子校、女子校と男女別学の高校があります。男子校・女子校の一部が共学校へ変更している高校もあります。

(ウ) 中高一貫教育がなされる

中学と高校を併設している高校もあります。徹底した進学指導等がなされ、特に進学校の場合、中学で高校の学習内容にまで進んでしまう学校もあります。

(エ) 習熟度別学級編成や特待生制度

習熟度別学級編成を行っている高校もあります。また、有名大学に多数の生徒が進学できるように、入学金や授業料を免除して成績優秀な生徒のために特待生制度を設けている高校もあります。

(オ) 通学区域に制限がない

公立高校と異なり、通学区域に制限がありません。千葉・東京・埼玉・茨城の高校を受験する生徒もいます。全寮制の高校や、希望者に寮を提供する高校があり、遠方からの受験や転居等にも対応している高校もあります。

(カ) 大学や短大付属系列の高校はその大学にそのまま進学できることがある

高校を卒業するとそのまま大学へ進学できる高校、成績に応じて大学へ推薦入学できる高校等があります。

(キ) 施設や設備等が充実している

公立高校に比べると冷暖房完備、Wi-Fi 設備、電子図書貸し出し、学食等が設備が充実している高校があります。

(2) 高等専門学校について

- ・5年制で、高度な工業技術者の養成を目指す。
- ・3年修了時には、高等学校卒業資格がもらえ、大学受験も可能。また、5年修了時には、大学3年生への編入制度がある。
- ・近隣には、「国立木更津高専」(木更津市)、「都立産業技術高専」(荒川区)がある。

○ 木更津工業高専(国立)

- ・学科 機械工学科 電気工学科 土木工学科 電子制御工学科 情報工学科
- ・入試について(過去のもの)

推薦入試 1月下旬(作文・面接・書類審査) 発表 1月末

一般人試 2月下旬(5教科・調査書) 発表 2月末

(3) 専修学校について

- ・高等課程（中卒者）および一般課程（高卒者）がある。
→ 高等専修学校ともいう。
- ・専門性を伸ばすための知識や技能が習得できる。
- ・工業、商業（IT・簿記会計）、社会福祉、ファッション（理容・美容・ネイル）、調理、芸能（声優・アニメーション）などの様々な分野がある。
- ・技能連携制度により、通信制高校に同時入学し、3年修了時に高卒資格を得られる学校もある。
（通信制高校と技能連携校を同時入学する）
- ・近隣には、「野田鎌田学園」「中央自動車大学校高等課程」「パリ総合美容専門学校」などがある。

(4) サポート校について

- ・サポート校は、通信制高校の卒業を、学習面、生活面、精神面でサポートすることを目的とした学校。いわば「塾」のような学校。
- ・通信制高校に同時入学し、3年修了時に高卒資格を得られる。
- ・週1日コース～6日コースなど登校する日数（コース）を選ぶ。
- ・選択授業では、スポーツ・アート・芸能などのコースを設置する学校もある。
- ・不登校を経験した生徒の学び直しなど、1人ひとりへの細やかな対応がある。
- ・近隣に「成美学園松戸校」「トライ式高等学院」「興学社高等学院」などがある。

(5) その他の学校について

① 自衛隊学校(神奈川県三浦市)

- ・「陸上自衛隊高等工科学校」は高等学校の普通科と同等の教育（神奈川県立高通信制に同時に入学）を受け、併せて技術的な識能を有する陸曹として必要な各種技術の専門教育、防衛基礎学や各種訓練を受ける。全寮制男子校。
- ・国家公務員の身分で、15万円程度の給料も支給される。

② 企業学校

- ・企業を支えるモノづくりのプロ（社員）の養成を目指す。卒業と同時に社員扱いとなる学校と中卒で各企業に入社、社員として企業内教育を受けるための学校がある。
- ・系列企業の技術を実地で学ぶため給料が出る上に学費がかからない。（入学費が必要、給料・手当がない企業内高等学校もある。また、教科書代や寮費など、諸費用が毎月の手当から天引きされる場合もある。）
- ・学校内に寮が用意されている。それらの寮は、通学困難者だけ利用可能な寮を提供している学校と必ず入らなければいけない全寮制の学校に分かれている。
- ・近隣ではないが、「日立工業専修学校」「トヨタ工業学園高等部」「日野工業高等学園」がある。

③ 高等技術専門校(技専)

- ・普通職業訓練で長期間及び短期間の訓練課程のものを行うための施設。
- ・県の職安(ハローワーク)が運営する学校で、授業料は無料の学科もある。
- ・短期課程(学歴不問・無料)と一般課程(高卒者・有料)があり、短期課程の訓練期間は、6ヶ月、9ヶ月、1年間のコースがある。
- ・入校時期は、4月、7月、10月、1月。
- ・入校選考料、入校料、授業料は無料。ただし、教科書代・作業服代等は本人負担。
- ・近隣では、「我孫子技専造園科(6ヶ月)」「船橋技専金属加工科(9ヶ月)」がある。

④ 松戸市立第一中学校みらい分校(夜間中学校)

- ・15歳以上で、松戸市在住、不登校等の理由で学び直しがしたい人や中学校の課程を修了していない人が対象の学校。国籍不問。授業料は無料。
- ・現在10~70代の21人が在籍している。(1年生9人、2年生2人、3年生9人)
- ・17:20~20:45まで4時間授業。中学校の教科書を使用して授業を行う。

(6) 就職について

① 就職の心構え

自分自身の適性・能力・身体・趣味などを考慮にいれ、自分にあった職種を見つけだし、また、同じ職種であっても、いくつかの会社の状況を調査し、事業所の内容・安定性・将来性等を検討した上でどの会社に就職するかを決定しましょう。そこで学校では、生徒と父母、そして学級担任などが一緒になって職業安定所(ハローワーク)の職員と面接、相談し、最近の就職情勢や生徒の能力適性などを検討して、よりよい就職先を見つけだすために努力をしています。

② 会社(就職先)の選び方

あらゆる角度から検討を加え、決定して行きましょう。また、職業安定所に相談しておくことは、大切です。

- ・自分の適性、能力などの条件から職種を決定しましょう。
- ・その職種についていろいろな会社の中から好ましい条件に合った会社を選びましょう。
- ・親と子の間で十分な話し合いを持ち決定しましょう。

③ 就職までの手順(予定)

5月	進路希望調査
7月~8月	職場見学(学校職員、保護者対象)
9月~10月	職業適性検査
10月	求人一覧表の配布
10月~11月	職業相談(ハローワークとの面接)
12月	応募書類の提出(希望する会社へ)
1月上旬	入社試験
1月中旬	合否発表通知
2月	就職先の確認 就職者激励会
3月下旬~4月上旬	入社式

④ 就職先を決める前に

就職先を決めるにあたって、次のことを詳しく知っておく必要があります。

事業所名、所在地、産業名、仕事の内容、資本金、就業時間、従業員数、休日、会社の経済状況、将来性、賃金（日・月給の別、金額、手取り、手当、昇給、賞与等）、福祉・厚生施設、定時制進学の有無、先輩の就職状況、赴任の方法、宿舍の状況 等

⑤ 働きながら学ぶために

(1) 定時制高校について

定時制高校は夜間授業です。昼間働いて夜に通学し、四年以上で卒業になります。入学は比較的容易ですが、卒業するには強い向学心が必要です。通学可能な定時制高校を以下に紹介します。（定時制の入試は全日制の入試と同様に実施されます。）

【定時制のある学校】

船橋高校、東葛飾高校、行徳高校、市川工業高校（機械電気・建築）

三部制の定時制：松戸南高校（午前・午後・夜間）

(2) 通信制高校について

家庭で勉強し単位を修得できる制度です。スクーリングや放送を利用する授業等があります。最低四年間ですが、定時制以上に向学心が必要です。また、最近では高等専修学校等に通いながら、通信制を利用する生徒もいます。

3 進学先選択のポイント

【高校選択の基本的な考え方】

条件を考えて選ぶ

保護者と生徒が相談して、まず学校の種別を決め、その後、特定の志望校を決めます。もし親と子の考え方が違う場合はよく話し合ってお互いの考えを理解しあい、理性的に調整に努め最終的には一致するようにしなければなりません。

なるべく1校だけに限定しないこと

高校進学には選抜試験があります。合格する生徒と不合格になる生徒との分かれ目は微妙です。必ず合格するという保証はありません。道をせまくして中学浪人させることは避けていくべきかと思われます。やむなく1校だけにするときには、安全を期して合格可能性のより高い学校を受験する等の配慮が必要です。

担任との協力

生徒に合った学校を選ぶために担任とよく相談してください。その上で家庭の事情・希望を十分考慮し、保護者の方で総合判断をしていただきたいと考えています。

(1) 自分の意志で選ぶこと

仲の良い友達が希望しているから、学校名を聞いて良いと思ったから、先輩が行っているから等、安易なり理由やうわさに流されてはいけません。また、間際になってあわてて決め、将来に悔いを残すような事にならないようにしましょう。自分自身の将来の希望・適性等を十分に考え、担任の先生や保護者の方と相談し、様々な角度から志望校について調べ、自分自身で高校を選ぶことが大切です。

(2) 学力とともに自分に合った学校を選ぶこと

中学時代は常に成績上位にいた生徒が高校では下位になってしまい、学習だけではなく高校生活全体に意欲を失ってしまうケースがあります。逆に、高校へ入学後トップクラスとなり、意欲的に高校生活を送るケースもあります。単に学力だけではなく、入学したい高校の校風を理解し自分に合った高校を選ぶことを十分考慮しなければなりません。さらに将来、進学を考える時、公立を目指すのか、大学付属の私立を目指すのか。又、共学・男子校・女子校の選択なども同様です。

(3) 高校の教育内容を知る<チェックポイント>

① 校風・教育の特色(特に私立は様々な特色を出しています)

伝統 教育方針 宗教教育 進学・就職指導 等

② 教育課程(カリキュラム)

- ・公立の普通科はほぼ同一の内容ですが、近年は普通科の中に、体育健康コース・情報処理コースなどのコース制を導入し、時間数を調整して特色を出している学校があります。
- ・私立高校により、カリキュラムが異なります。また、中高一貫教育の学校では、かなり特色のあるカリキュラムの学校もあります。パンフレット等で必ず確認しましょう。
- ・宗教・武道・作法等、公立高校にはない授業も私立には見られます。
- ・職業科(専門課程)に進む場合は、専門的な教科が入ってくるため、公立・私立を問わず十分調べておく必要があります。

③ 施設・環境

- ・校舎、教室、特別教室、食堂、グラウンド、体育館等の施設は、学校によりかなり異なります。
- ・1クラスの定員は、学校によって違います。少人数を実施している学校もあります。
- ・学校周辺の環境も大切です。

④ 特別活動

充実した高校生活を送るためには、生徒会活動・部活動など、自分が参加したいと思っているものがどのように活動しているか調べましょう。特に部活動で技能を伸ばしたい人は、施設・指導者・活動状況・実績・費用なども知っておいた方が良いでしょう。

⑤ 卒業生の進路

高校によって、卒業生の進路状況には違いがあります。また、進学実績も十分調べましょう。希望する大学にどのくらい進学しているか、指定校推薦枠はあるか、現役合格者の割合等、特に短大・大学進学を考えている人は、高校選択の際に考慮したいことです。

(4) 通学について

常盤平駅、五香駅からは、京成松戸線で習志野方面、新鎌ヶ谷駅で東武アーバンパークライン、八柱駅で武蔵野線に乗り換えて、埼玉・船橋・千葉方面、さらに松戸からは、常磐線で茨城・柏・東京方面など、かなり広い範囲の高校へ通学する事が可能です。しかしながら、混雑の中、通学に時間がかかり、乗換が多かったりすると、かなり大きな負担になります。また、多額の交通費がかかることにもなりますので、それらのことも考えて学校を選ぶようにしましょう。

(5) 高校への受験料・学費について

私立高校に比べ、公立高校の授業料等は安いです。ただし、カリキュラムの内容や、進路指導の細やかさ、利用できる施設、交通費や、塾・予備校の費用などさまざまな要素を含めてトータルに考えていくことが大切です。成績等によって、入学金や授業料を減免する特待生制度が私立高校ではあるので、よく調べる必要があります。

○受験料

公立高校 ⇒ 全日制2,200円 定時制950円

私立高校 ⇒ 20,000円前後

○学費

公立高校 ⇒ 入学金:5,650円 授業料:9,900円/月(年間118,800円)

私立高校 ⇒ 入学金:20万円~50万円 授業料:15,000円~45,000円/月

※公立・私立とも「高等学校就学支援制度」があり、高校などの授業料について、国が学校に直接支給することで、2026年度(令和8年度)からは所得制限なしで、公立は年11万8,800円、私立は年45万7,200円を上限に支援する制度です。

※私立高校に合格すると、入学金等を納入しなくてはなりませんが、第一希望が公立高校だった場合、第1志望校の結果が出るまで納入を待ってくれる学校・待ってくれない学校・一部納入する学校等様々です。また延納手続きが必要な場合があります。期日までに入学金等を納入しないと、合格が取り消されてしまうことがあります。

(6) 第2志望・第3志望高校をよく考えて決めよう

第2志望以下の高校も、しっかりとした高校生活を送ること、後悔せずに3年間を過ごすことのできる学校を、真剣に調べ、よく考えて、決定していくようにする必要があります。

公立高校の場合、後期選抜では出願後に志願変更期間があり、出願状況を見て、最初に出願した A 高校から、B 高校への志願変更が可能です。事前に B 高校が選択肢に入っており、事前検討がなされていれば良いのですが、倍率だけを見て受検し、合格したのは良いが、その高校の内容がよく分かっておらず、入学してからその高校が合わないと感じることもあり得ます。公立の受検校を考える際は、複数校を見学、検討しておくことが大事なことになります。

4 公立高校について

(1) 入学者選抜について

- ・2021年度入試から、受検が1回に変更となった。
- ・公立高校の併願は認められていない。
※転居等で他県公立高校を受検する場合は、決定次第、早急にご連絡ください。
- ・他県を受検することは原則できない。
※松戸市と隣接協定を結んでいる埼玉県(三郷市、吉川市等)の一部公立高校は受検できます。
- ・公立高校と他の私立高校、国立高校との併願受検は認められている。
- ・普通科は学区制が設けられており、該当学区および隣接学区を受検できる。
- ・専門学科(総合学科を含む)は、県内全域の学校を受検できる。
- ・各校の「選抜・評価方法」は、8月下旬に各高校HPで公開される。
- ・前期・後期選抜のときと同様、「特別入学者選抜」がある。(外国人選抜、海外帰国生徒等)
【外国人選抜】
 - ・外国籍を持ち、入国3年未満の者に受検資格を与える。
 - ・英語または日本語の「作文」+「面接」で実施する。学科検査は課さない。
 - ・検査は1日目午後のみ(1日で実施)。【海外帰国生徒】
 - ・海外在住期間2年以上4年未満 ⇒ 帰国後1年以内の者に受検資格を与える。
 - 海外在住期間4年以上 ⇒ 帰国後2年以内の者に受検資格を与える。
 - ・国数英3科(英 60 分・他 50 分)+ 高校が定める検査 を1日目に行う(1日で実施)。

地域連携アクティブスクール

① どんな特徴？

中学校で充分力を発揮しきれなかったけれども、高校では頑張ろうという意欲を持った生徒に、企業や大学など地域の教育力を活用しながら、「学び直し」や「実践的なキャリア教育」を行い、自立した社会人を育てる学校。

② どの高校？

近隣では、**県立流山北高校（東武線江戸川台）、船橋古和釜高等学校（京成松戸線北習志野）**。他に、**天羽高校（富津市）、泉高校（千葉市）、行徳高校（市川市）、市原高校（市原市）**がある。

③ 受検科目は？

国語・数学・英語 3 教科の学力検査を実施。2日目に面接や作文等の検査がある。

三部制定時制高校

① どんな特徴？

「午前部」「午後部」「夜間部」の3部を設置する単位制定時制の学校。定時制の課程は一般的に夜間の4時間授業を4年間かけて履修するが、授業の履修次第では3年で卒業することも可能。

《例》午前部に所属し、午後部の5・6校時を履修。

② どの高校？

松戸南高校（JR線東松戸）、生浜高校（千葉市）、佐倉南高校（佐倉市）の3校がある。

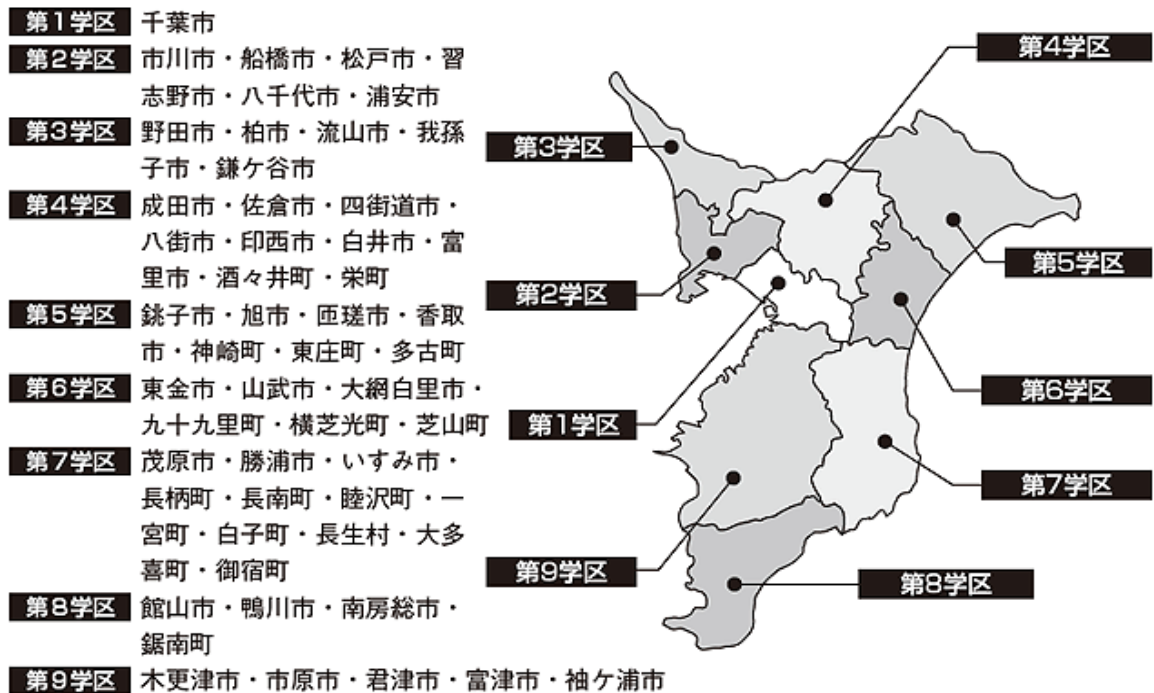
③ 受検は？

- ・一般入学者選抜の他に8月末に出願する「秋季入学者選抜」がある。
- ・昨年度から、「得点に倍率をかける教科の申請書」の提出は不要になった。

時間		午前部	午後部	夜間部
8:40 10:15	I	1		
		2		
	SHR・清掃			
10:35 12:10	II	3	3修制向け 授業	
		4		
	お昼			
12:55 14:30	III	3修制向け 授業	5	
			6	
			SHR・清掃	
14:50 16:25	IV		7	
			8	
17:10 18:40	V			9
				10
休憩・SHR				
19:15 20:45	VI			11
				12

(5) 通学区域

県立千葉女子高校、県立幕張総合高校、県立木更津東高校と定時制の課程、通信制の課程、および専門学科は、志願に関する学区制限はありません。



【松戸市からの受検可能区域】

第四中学校は、第2学区ですので、第1・第3・第4学区にある県立高等学校普通科の受検が可能です。市立高等学校については、市立松戸、市立習志野、市立柏、市立船橋の受検が可能です。(※市立千葉、市立稲毛は専門学科のみ受検が可能です)

【松戸市から普通科の受検が可能な公立高等学校一覧】

学区	所在市町村	所在高校名
第1学区	千葉市	千葉、千葉女子、千葉東、千葉商業、京葉工業、千葉工業、千葉南、検見川、千葉北、若松、千城台、生浜、磯部、泉、幕張総合、柏井、土気、千葉西、犢橋
第2学区	船橋、松戸、市川、浦安、習志野、八千代	八千代、八千代東、八千代西、津田沼、船橋、薬園台、船橋東、船橋啓明、船橋芝山、実籾、船橋二和、船橋古和釜、船橋法典、船橋豊臣、船橋北、市立習志野、国府台、国分、行徳、市川東、市川南、浦安、浦安南、松戸、小金、松戸国際、松戸南、松戸六実、市川工業、市川昂、松戸馬橋、松戸向陽、市立松戸 市立船橋
第3学区	野田、流山、我孫子、柏、鎌ヶ谷	鎌ヶ谷、鎌ヶ谷西、東葛飾、柏、柏南、柏陵、柏中央、柏の葉、沼南高柳、沼南、市立柏、流山南、流山北、流山、流山おおたかの森、野田中央、関宿、清水、我孫子、我孫子東
第4学区	白井、富里、成田、佐倉、八街、印西、四街道	白井、成田国際、成田北、富里、佐倉、佐倉東、佐倉西、佐倉南、四街道、四街道北、印旛明誠、成田西陵、下総、八街

5 私立高校について

(1) 入試日程について（昨年度のもの）

	前期（推薦）入試	後期（一般）入試
千葉私立高	1月17日～	2月15日～（一部の学校で実施）
東京私立高	1月22日～	2月10日～
茨城私立高	1月9日	1月15日～
埼玉私立高	1月22日～	2月1日～

(2) 推薦制度について

単願推薦（A推薦）	【条件】 ① <u>中学校長の推薦</u> がある。 ② 該当私立高を <u>第一希望とし、合格した場合は、必ず入学する。</u> ③ 該当私立高の <u>推薦基準</u> を満たしている。 ④ 入学手続き、入学時納付金を速やかに納付できる。
併願推薦（B推薦） （第二希望のみ） （公立のみの学校有）	【条件】 ① <u>中学校長の推薦</u> がある。 ② 該当私立高を第二希望とし、 <u>第一希望に入学しない場合、合格した場合は、必ず入学する。</u> ③ 該当私立高の <u>推薦基準</u> を満たしている。 ④ 延納願の提出や延納金の納付をしっかりと行う。
併願推薦（B推薦） （第三希望以下 OK）	【条件】 ① <u>中学校長の推薦</u> がある。 ② 上位希望校に入学しない場合、 <u>合格した場合は、必ず入学する。</u> ③ 該当私立高の <u>推薦基準</u> を満たしている。 ④ 延納願の提出や延納金の納付をしっかりと行う。

【推薦基準とは】

① 内申基準 → 3教科、5教科、9教科の通知票の成績の合計が、指定基準を超える。

[例] 我孫子二階堂高校（進学コース）

A推薦（3科 50 分+集団面接） → 5科合計13以上

B推薦（3科+理 or 社50分+集団面接） → 5科合計15以上

[例] 中央学院高校

・進学コース

A選抜（3 科試験+面接） → 5教科合計17以上

B選抜（3科試験のうち高得点 2 科目） → 5教科合計18以上

・特別進学コース

単願推薦（3科試験） → 5教科合計19以上

併願推薦（3科試験） → 5教科合計20以上

※ 高校によっては、英語検定・漢字検定等の資格や、皆勤（無欠席・無遅刻・無早退）、部活動大会記録などを内申点に加点できる場合もあります。募集要項で確認ください。

② 出欠席基準 → 3年間で○日以内、各学年の欠席が●日以内であること。

[例] 日体大柏高校 出席状況が良好な者（各学年の欠席が原則10日以内）

[例] 日大習志野高校 中学3年の欠席日数が20日以内（3年次は11月末日で算出）

6 年間指導計画(進路だより No.4)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
学校行事	着任式・始業式 6 入学式 8 学力・学習状況調査 21	体育祭 14 修学旅行 24-26	生徒総会 5	部活動壮行会2 終業式 17 夏季休業 21～	夏季休業～31	始業式 1 生徒会役員選挙 28
決定の時期	基本的な選択の完了 ① 就職 or 進学 ② 公立 or 私立 or 専門学校 ③ 全日制 or 定時制 or 通信制			第1希望を絞る ・ 公立高校なら2つ以内に ・ 私立高校なら3つ以内に ・ 併願校を探す (2～3校に絞り, 高校見学を行う)		
進路情報			進路保護者会 ① 6 / 1 9		高校訪問、説明会 夏は公立中心	
テスト			定期テスト① 6/23, 24	到達度テスト① 7/1		到達度テスト② 9/2
面接			二者面談	三者面談① 夏休み中	二者面談	
書類	進路調査① 4/7 - 4/14			進路調査② 7/7 - 7/14		進路調査③ 9/1 - 9/8
	高校見学・体験入学等、申告用紙 随時					
就職	就職希望の確認・検討 希望する職種・定時制への進学可能性					
学習計画	勉強をペースに乗せる ・ 提出物を提出できる力をつける ・ 定期試験に向けて、復習をする ・ 毎日一定時間の勉強時間を確保する			・ 各教科の基礎基本の定着 ・ 不得意科目の克服 ・ 基本的な問題に繰り返し取り組む。(過去の入試問題はまだ) 定期テストと 学力テストに 集中		

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
学校行事	合唱コンクール 1 駅伝壮行会 15 三者面談 26～	三者面談～7 進路検討会 30	入試相談 15～ 成績確認表配布 冬季休業 24～ 私立出願	始業式 7～ 私立入試開始	公立出願 2-4 志願変更 9,10 公立入試 16,17 追検査 25	公立発表 2 二次検査 10
決定の時期	併願校の決定 ・ 推薦を利用するか？ ・ 1 校 or 2 校？ 第 1 希望を絞る ・ 公立なら決定 ・ 私立の受け方の決定					
進路情報	進路保護者会② 10/9 (仮) 高校訪問 この時期は、私立中心					
テスト	学力テスト③ 10/5	学力テスト④ 11/4 定期テスト② 11/16, 17	学力テスト⑤ 12/4	★茨城私立 ★千葉私立	公立出願 2/2-4 公立検査 2/16, 17 定期テスト③ 2/8, 9	公立発表 3/2 二次検査 3/5 出願 3/10 検査
面談	二者面談 三者面談② 10/26-11/7 二者・三者面談 随時					
書類	進路調査④ 10/28-11/4 手続願・推薦申請書 随時 - 11/21 迄					
就職	レディネステスト 職業適性検	職安との面接 ・ 職安との四者面談 ・ 希望する企業の選定		会社訪問 入社試験 入社手続き		
学習計画	入試の過去問題に挑戦する ・ 併願私立過去問・公立過去問を解く ・ 疑問点は必ず解消する 公立受検者は理科と社会の復習に時間をかける。					

※日付等は現段階のものであり、変更となる可能性があります。よろしくお願いします。

7 昨年度の卒業生の進路

国立公立高校・特別支援学校等
千葉県立幕張総合高等学校
船橋市立船橋高等学校
習志野市立習志野高等学校
松戸市立松戸高等学校
柏市立柏高等学校
千葉県立国分高等学校
千葉県立船橋高等学校
千葉県立葉園台高等学校
千葉県立船橋東高等学校
千葉県立船橋啓明高等学校
千葉県立船橋二和高等学校
千葉県立船橋法典高等学校
千葉県立船橋北高等学校
千葉県立市川工業高等学校
千葉県立小金高等学校
千葉県立松戸国際高等学校
千葉県立松戸六実高等学校
千葉県立松戸馬橋高等学校
千葉県立松戸向陽高等学校
千葉県立松戸南高等学校
千葉県立幕張総合高等学校
船橋市立船橋高等学校
習志野市立習志野高等学校
松戸市立松戸高等学校
柏市立柏高等学校
千葉県立国分高等学校
千葉県立船橋高等学校
千葉県立葉園台高等学校
千葉県立船橋東高等学校
千葉県立船橋啓明高等学校
千葉県立船橋二和高等学校
千葉県立船橋法典高等学校
千葉県立船橋北高等学校
千葉県立鎌ヶ谷高等学校
千葉県立鎌ヶ谷西高等学校
千葉県立東葛飾高等学校
千葉県立柏高等学校
千葉県立柏南高等学校
千葉県立柏陵高等学校
千葉県立柏中央高等学校
千葉県立沼南高柳高等学校
千葉県立流山高等学校
千葉県立流山北高等学校
千葉県立流山南高等学校

私立高等学校等
我孫子二階堂高等学校
国府台女子高等学校
敬愛学園高等学校
光英 VERITAS 高等学校
秀明八千代高等学校
昭和学院高等学校
専修大学松戸高等学校
翔凛高等学校
千葉商科大学附属高等学校
千葉敬愛高等学校
中央学院高等学校
芝浦工大柏高等学校
東海大学付属浦安高等学校
東京学館船橋高等学校
東葉高等学校
八千代松陰高等学校
日本体育大学柏高等学校
日本大学習志野高等学校
渋谷教育学園幕張高等学校
西武台千葉高等学校
日出高等学校
千葉経済大学附属高等学校
早稲田実業高等学校
安田学園高等学校
関東第一高等学校
駒込高等学校
共栄学園
日本大学第一高等学校
明治学院
江戸川学園取手高等学校
東洋大学付属牛久高等学校
法政大学付属国際高等学校
聖光学院高等学校
クラーク国際高校千葉
飛鳥未来高等学校
成美学園高等学校
N 高等学校
S 高等学校
勇志国際高等学校
興学社高等学院
第一高等学院柏校
中央高等学院
トライ式高等学院

千葉県立流山おおたかの森高等学校
千葉県立白井高等学校
千葉県立つくし特別支援学校
千葉県立特別支援学校市川大野高等学院
千葉県立我孫子特別支援学校精新分校
千葉県立特別支援学校流山高等学園

8 高校訪問・説明会・体験入学について

(1) 高校訪問とは

希望校の候補をいくつか決めたら、ぜひ実際に足を運んでみましょう。学校の校風や、生徒や先生の雰囲気、授業や部活動の様子など、自分の眼で実際に見てみなければわからないことが、たくさんあります。

学校説明会

教育内容や部活動、進路内容などについて、高等学校の先生が説明する会です。

体験入学・授業参観

実際の授業を見たり、体験したりできます。

文化祭等の公開

校風を体感することができたり、学校内部をすみずみまで見たりできる絶好の機会です。事前予約や見学チケットが必要な学校もあるので、確認しましょう。面談の話し合いや自分の希望をもとに、夏休み中などに高校見学をすることは大変有意義です。「もう、入試は始まっている」という気持ちで出かけましょう。

(2) 高校訪問の心得

- ① 中学校を通して連絡しなくてはいけない場合や、連絡しなくても良い場合もあります。きちんと確認しましょう。
- ③ 服装は当然制服。ホックや袖ボタン等にも充分気を配りましょう。シャツ出し・スカート縮めなど問題外。生徒証(身分証明書)も持参しましょう。
- ③ 高校の施設(校舎・グラウンド等)や雰囲気の外に、交通の便も見ておこう。特に電車・バスの所要時間や本数等も確認しておきたい。入試の時必ず必要になります。
- ④ 高等学校に行ったらまず受け付けに行き、「学校名、氏名、用件」を必ず言ってから学校に入る。礼儀正しい行動をし、丁寧な言葉遣いを心がけましょう。
- ⑤ 可能であれば、保護者同伴で行くことが望ましいです。
- ⑥ 公立高等学校には、説明会・体験入学等の日以外は内部の見学を認めないところが多い。普通の日に行った場合は学校の周囲や外観のみの見学になることもある。
- ⑦ 高校訪問後は、担任に訪問の報告書を提出しよう。
- ⑧ 受験する学校については、入試前に一度は見学に行く必要があります。特に、芸術系やスポーツ系の学校は、事前に公開練習会等に参加しましょう。高校入学後の学校生活のイメージを膨らませるためにも、自分の眼と、耳と、足で探してください。また、最近はインターネット上のホームページで学校紹介がされています。

9 奨学金制度について

いろいろな団体が学費の援助を行っています。毎年、「日本育英会」「あしなが育英会」などの奨学生募集がきます。この他、各種の奨学制度があります。希望がある場合は、担任までご相談ください。

(1) あしなが高校奨学金

① 応募資格

- ・中学3年生で高校、高専、専修学校高等課程に進学を希望する者 ※サポート校は対象外
- ・保護者が病気、災害、自死などで死亡または著しい障害を負い、経済的に苦しい家庭の子ども

② 奨学金の内容

月額 30,000円

※私立高校入学一時金(貸与30万円)の制度もあり

③ 奨学金受給期間

- ・2027年4月から卒業まで

③ 申込み締切(郵送)

- ・1次 2026年7月31日 2次 2027年12月15日
- ・3次 2027年2月28日 ※いずれも消印有効

(2) 交通遺児育英会奨学金(貸与)

① 応募資格

- ・中学3年生で高校、高専に進学を予定する者(予約応募)
- ・保護者が道路における交通事故で死亡または著しい障害を負い、経済的に苦しい家庭の子ども

② 奨学金の内容

- ・20,000円、30,000円、40,000円から選択(無利子)
- ・入学一時金 20万円、40万円、60万円から選択(無利子)

④ 奨学金受給期間

- ・2027年4月から卒業まで(最短就業年限まで)

⑤ 申込み締切

- ・1次 2026年8月31日 2次 2027年1月31日

(3) マブチ・スタディクーポン(塾・習い事の授業料クーポン)【昨年度】

① 応募資格

- ・令和7年度修学援助認定を受けている現中3生(今年度新規申請中の場合は、要問合せ)
- ・2025年5月に児童扶養手当の支給を受けている現中3生
- ・申し込み時点で、生活保護の適用を受けている現中3生

② 奨学クーポンの内容

- ・1人あたり200,000円(インターネットで利用できる電子クーポン)

③ 奨学クーポン利用期間

- ・2026年5月1日～2026年3月31日

④ WEB申込み締切

- ・2026年3月16日(月) ※決定は4月28日(火)

(4) 日本学生支援機構の高等専門学校奨学金【昨年度】

① 応募資格

- ・中学3年生で高校、来春高専進学を予定する者（予約応募）
- ・学力・人物・家計の基準を満たす者
※中学校1年～2年生までの成績の評定平均値が3.5以上
※学習意欲を持ち規律ある生活を送っている。また奨学金は返還が必要だという認識がある者。

② 奨学金の内容

- ・10,000円、21,000円から選択（無利子）※4年生から貸与額変更。

③ 奨学金受給期間

- ・2026年4月から卒業まで（最短就業年限まで）

④ 申込み期間

- ・2020年10月1日（木）～2020年12月15日（火）※中学校に必要書類を提出

(5) 松戸市高等学校入学資金貸付制度（12月「広報まつど」に掲載予定。）【昨年度】

① 応募資格

- ・経済的理由により高等学校（高等専門学校を含む）への入学が困難な家庭であること
- ・保護者が松戸市に住民登録しており、引き続き1年以上市内に居住していること
- ・本人が成績良好、品行方正で、身体強健な者であること
- ・市内（特別な事情を除く）に居住する確実な連帯保証人が得られること など
※中学校長の推薦が必要
※生活保護世帯は除く（ただし私立進学者は対象となります）

② 奨学金の内容

- ・公立 160,000円以内（無利子） ・私立 300,000円以内（無利子）
- ・併願 210,000円以内（無利子）

③ 奨学金受給期間

- ・2026年4月から卒業まで（最短就業年限まで）

④ 申込み期間（予定）

- ・令和8年1月6日（火）から申請開始。3月10日（火）申請締切。
※子育て支援課（市役所新館9階）に持参。郵送及び各支所・市民課での受付はできません。

(6) 千葉県母子父子寡婦福祉資金【昨年度】

① 応募資格

- （母子福祉資金）・20歳未満の児童を扶養している母子家庭の母及びその児童
- ・父母のいない20歳未満の児童
- （父子福祉資金）・20歳未満の児童を扶養している父子家庭の父及びその児童

② 修学貸付金の内容

- ・高等学校・専修学校高等課程 国公立月額27,000円以内 私立月額45,000円以内
- ・高等専門学校 国公立 月額31,500円以内 私立 月額48,000円以内
※ともに無利子
※他の自治体又はそれに準ずる団体（日本学生支援機構、教育委員会、社会福祉協議会、金融公庫等）からの公的な貸付を既に利用されている場合は、その貸付と同じ用途について、重複して母子（父子・寡婦）福祉資金の貸付を受けることはできない。

- ③ 修学貸付金受給期間
 - ・2026年4月から卒業まで（最短就業年限まで）
- ④ 問い合わせ先
 - ・松戸市役所子育て支援課

（７）似鳥国際奨学財団奨学金【昨年度】

- ① 応募資格
 - ・日本国籍を持つ中学1～3年在籍生徒かつ、ひとり親家庭
 - ・世帯総収入が600万円以下
 - ・①毎月期限内にレポート提出 ②年1回程度の交流会に参加 ができる者
- ② 支給金の内容
 - ・月額 4.5 万円
 - ※給付型なので返済不要。
 - ※他の奨学金との二重給付可能。
- ③ 修学貸付金受給期間
 - ・2026 年4月から卒業まで（最短就業年限まで）
- ④ 申込み期間
 - ・令和 8 年 1 月 20 日（火）～4 月 20 日（月） ※エントリー後必要書類の提出あり
- ⑤ エントリー先 <http://www.nitori-shogakuzaidan.com/>

（８）アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金 【昨年度】

- ① 応募資格
 - ・経済的理由により、高校等の就学もしくは充実した学校生活が困難な者。
 - ・18歳未満で、(ア)小児がんを発症したがん経験者 (イ)がんにより主たる生計維持者を失った遺児。
 - ・(ア)、(イ)とも、前年度の収入が規定の上限を超えない者。
 - ・(イ)は成績評定平均 3.5 以上の者、または特定の分野で全国大会出場等優れた実績を持つ者。
- ② 支給金の内容
 - ・月額2万円 (①は全国で 30 名を募集、②は全国で 140 名を募集)
 - ※給付型なので返済不要。 ※他の奨学金との二重給付可能。
- ③ 修学貸付金受給期間
 - ・2026年4月から卒業まで（最短就業年限まで）
- ④ 申込み期間
 - ・令和7年11月1日～2月末日（消印有効） ※エントリー後必要書類の提出あり
- ⑤ 申込先
公益財団法人がんの子どもを守る会奨学金担当 ☎:03-5825-6311

10 これから心がけること

(1) 日常生活を大切にしよう。

①規則正しい生活リズム→健康的な生活をしよう。

〈悪い例〉夜更かし→朝寝坊で朝食抜き→授業中ぼんやり。

②基本的な生活習慣を大切にしよう。

☆あいさつ・言葉遣い・服装・礼儀・提出物等

(2) 毎日の授業を大切に。

①宿題・予習・提出物・授業時の発表等

②入試科目以外の教科を大切に

(3) 家庭学習を計画的に実行しよう。

①「自分で考える」勉強方法で実力養成を ⇒ 1、2年の復習

②夏休みの過ごし方が最重要点 ⇒ 夏を制するものは、受験を制す。

※3年生の学習は、毎日の授業と1、2年の復習の二本立てにしよう。

(4) 提出物の期限を厳守しよう。

①出願時期の書類提出に向けて、各教科や学校の提出物の期限を守って出す習慣を身につけましょう。

②印鑑を必要とするものは、しっかり押印してから提出すること。印もれの受験書類は受理されません。

※進路に関わる各種手続きをきちんと行うことは、将来の自立に向けて大切な学習となりますので、ご家庭でもご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

【 連 絡 】

◎英検・漢検・数検の資格や、外部で取得した検定や表彰 等について

⇒外部で英検や漢検等の資格や、外部活動(野球やサッカー等)で表彰を受けたものについては、賞状のコピー1部提出をお願いします。

◎第2回進路希望調査について

⇒本日、第2回進路希望調査を配付いたしました。家庭で相談の上、3日(金)までに提出をお願いします。

◎進路に関するお便りの HP 掲載について

学校ホームページに、進路関係の手紙を掲載しています。紛失してしまった場合や、提出期限を確認したい場合に、学校ホームページの進路コーナーを活用していただければ、と思います。

また、ページの下方には、千葉県教育委員会「令和9年度 高等学校入学者選抜情報」へのリンクと、各高等学校 HP へのリンク一覧が載せてあります。

“進路関係” を選択！



松戸市立 第四中学校
DAIYŌ 4th HIGH SCHOOL

ホーム | 四中NOW! | 各種おたより | 部活動関係 | **進路関係** | 教育課程特例校

ホーム > 進路関係

- 個人成績記録表
- 進路年間計画
- 学校説明会等のお知らせ
- 提出書類関係
- 進路だより
- 到達度確認テスト
- 奨学金のご案内

お知らせ

【重要】
公立高校受検の事前指導用の進路だよりを掲出しました。
各自で確認してください。
<https://www.matsudo.ed.jp/mtd-4-j/index.cfm/13,10066,120.html>

個人成績記録表の見本と記載内容確認事項（カラー版）を掲出しました。
<https://www.matsudo.ed.jp/mtd-4-j/index.cfm/13,10300,177.html>

関東第一高等学校の学校説明会等のお知らせを掲出しました。
<https://www.matsudo.ed.jp/mtd-4-j/index.cfm/13,10289,166,557.html>